

## 環境こだわり農産物認証制度における

## 対象農作物の品目および作型の追加について

## 1. 追加する対象農作物および作型

## (1) 青パパイヤ

## 【理由】

- ・湖北地域で肥料商が研修を実施し、生産を推進しているとともに、生産者から実需者への流通経路が確立しており、今後さらなる生産拡大が見込まれるため。
- ・販路拡大のために環境こだわり農産物の認証を得て付加価値を高めたいとの要望があるため。

## (2) レタス（結球）露地春夏・施設春夏

## 【理由】

- ・平成 13 年に対象農作物として設定。現在、施設・露地の秋冬作が対象であるが、生産者グループ・実需者ともに春作追加への強い要望があり、今後の拡大も見込まれるため。

## 2. 作型の変更案

## (1) 青パパイヤ

## 【新規】

区分	農作物名	作型名	慣行基準		5割以下基準		主な県内産地	栽培期間の目安
			化学合成農薬（延べ使用成分数）	化学肥料（窒素成分量kg/10a）	化学合成農薬（延べ使用成分数）	化学肥料（窒素成分量kg/10a）		
果菜類 果実的 野菜	青パパイヤ	—	10	27	5	13	甲賀市、長浜市、米原市	5月～9月

(2) レタス (結球) 露地春夏、施設春夏

・追加しようとする春夏の基準が秋冬と同様のため、季節表記を削除する

【変更前 (現行)】

区分	農作物名	作型名	慣行基準		5割以下基準		主な県内産地	栽培期間の目安
			化学合成農薬 (延べ使用成分数)	化学肥料 (窒素成分量kg/10a)	化学合成農薬 (延べ使用成分数)	化学肥料 (窒素成分量kg/10a)		
野菜 葉茎菜類	レタス (結球)	露地秋冬	16	20	8	10	南部地域	7～10月
		施設秋冬	10	16	5	8	南部地域	7～10月

【変更後】

区分	農作物名	作型名	慣行基準		5割以下基準		主な県内産地	栽培期間の目安
			化学合成農薬 (延べ使用成分数)	化学肥料 (窒素成分量kg/10a)	化学合成農薬 (延べ使用成分数)	化学肥料 (窒素成分量kg/10a)		
野菜 葉茎菜類	レタス (結球)	露地	16	20	8	10	南部地域	秋冬：7～10月 春夏：3～6月
		施設	10	16	5	8	南部地域	秋冬：7～10月 春夏：3～6月

対象農作物・作型の追加にかかる慣行基準の根拠

青パパイヤ

化学合成農薬				肥料等				
施用時期	種類	対象病害虫	使用回数	施用時期	肥料名	施用量 (kg/10a)	窒素成分量 (kg/10a)	うち化学肥料分量 (a)
育苗期	殺菌剤	炭疽病	1	5月	土壌改良剤	60	1.20	1.20
育苗期	殺菌剤	炭疽病	1	5月	リン酸肥料	60	0.60	0.00
6月	殺菌剤	炭疽病	1	5月	化成入り有機質肥料	160	9.60	6.40
7月	殺菌剤	炭疽病	1	7月～9月	化成肥料	90	13.50	13.50
8月	殺虫剤	カイガラムシ	1	7月	緩効性肥料	60	6.00	6.00
8月	殺虫剤	ハダニ	1	/				
9月	殺虫剤	カイガラムシ (ハマキムシ)	1					
5～8月	除草剤	雑草	3					
農薬成分数			10	化学肥料施用量計				27.1

○他県の慣行的使用量

県名	区分	農薬 (成分)	化学肥料 (N kg/10a)
静岡県	露地	12	20
	無加温ハウス	8	16
沖縄県	周年	14	17

レタス（結球）露地春夏

化学合成農薬				肥料等				
施用時期	種類	対象病害虫	使用回数	施用時期	肥料名	施用量 (kg/10a)	窒素成分 (kg/10a)	うち 化学肥料 分 (a)
3月	除草剤	雑草	1	3月	牛糞堆肥		2,000	
4月、5月	殺虫剤	ハモグリバエ類	2	3月	苦土石灰		120	
4月、5月	殺虫剤	ナモグリバエ	2	3月	BM ようりん		40	
4月、5月	殺虫剤	アブラムシ類	2	3月	有機入り化成肥料	160	22.4	20
5月、6月	殺虫剤	アブラムシ類	2	/				
3月、4月、5月	殺菌剤	すそ枯れ病、灰色かび病	3					
6月	殺菌剤	軟腐病	1					
3月、4月、5月	殺菌剤	菌核病	3					
農薬成分数			16	化学肥料施用量計				20

レタス（結球）施設春夏

化学合成農薬				肥料等				
施用時期	種類	対象病害虫	使用回数	施用時期	肥料名	施用量 (kg/10a)	窒素成分量 (kg/10a)	うち化学肥料分 (a)
3月	除草剤	雑草	1	3月	牛糞堆肥	2,000		
4月、5月	殺虫剤	ハモグリバエ類	2	3月	苦土石灰	120		
5月	殺虫剤	ナモグリバエ	1	3月	BM ようりん	40		
4月、5月	殺虫剤	アブラムシ類	2	3月	有機入り化成肥料	150	18	16.2
4月、5月	殺虫剤	アブラムシ類	2	/				
3月	殺菌剤	灰色かび病	1					
3月	殺菌剤	菌核病	1					
農薬成分数			10	化学肥料施用量計				16.2